

幼児期の造形表現体験と中学生の美術科に対する意識との 関連Ⅱ－構成遊び, 鑑賞に関わる経験に着目して－

茂木克浩・ 中村光絵

The relationship between artistic experience in early childhood and junior high school students' awareness of art Ⅱ: Focusing on experiences related to compositional play and appreciation

Katsuhiko MOGI, Mitsue NAKAMURA

Abstract In this paper, we report the relationship between activities related to artistic expression in early childhood and "likes and dislikes", and their poor at art by junior high school students. This is the second report. I was carried out by the question paper investigation. Among the questions, this time, we focused on "experience using blocks and wood blocks in early childhood", "experience of touching picture books in early childhood", "experience of visiting museums in early childhood", and "storage status at home of works produced in early childhood and elementary school age". As a result, we were able to find the possibility that various experiences such as "composition play using blocks and wood blocks", "touching picture books", and "experience of exhibiting and appreciating works" will create positive feelings about art in the future.

Keywords: *Childhood, Artistic experience, Junior high school students, Compositional play, Appreciation*

はじめに

本論稿は、中学生(青年前期)の子どもたちが造形表現や美術に抱くイメージ(好き嫌い・得意不得意)と幼児期の造形表現体験との関係を明らかにするために行った質問紙調査の結果についての分析を行ったものの続報である。調査は2019年に実施されその分析結果の一部については、拙著「幼児期の造形表現体験と中学生の美術科に対する意識との関連」において報告した¹⁾。

前回の報告では、質問項目の中から幼児期の造形表現活動(例えば、絵を描くことや粘土あそびなど)の経験頻度と、中学校美術科の授業における表現活動(絵を描くことやものを作ること)に対して抱く、好き嫌い・得意不得意の意識との関連について統計的に分析を行った。その結果、幼児期に「絵を描いた経験」の頻度が高いと、中学校美術科の授業において「絵を描くこと」に対して、ポジティブ(好き、得意)な意識を抱きやすい可能性があることが分かった。

また美術館の利用と鑑賞活動の項目については単純集計した結果に考察を加え、研究ノートという形で報告した²⁾。それによると幼児期だけでなく中学生になってからも多くの生徒が美術館と縁のない生活を送っていることがわかった。幼児期に子ども自ら美術館に足を運ぶことは考えにくいことから、保護者が美術館に連れて行く機会が少なかったということが推測され、そこから保護者の美術に対する関心の薄さや、関心があるものの美術館にアクセスできない/させないという課題の存在が予想された。

本論考はそれら拙著で報告してきた調査の続報である。今回はブロックや積み木を使用した構成遊びの経験と、絵本に触れた頻度や美術館へ足を運んだ経験、就学前施設(保育園や幼稚園)や小学校の時に製作した作品の各家庭での保管状況といった広く鑑賞に関わる経験と、中学校の美術の授業における表現活動に対する好き嫌い、得意不得意といった意識との関連について、統計的な手法で分析を行っている。

1. 研究の目的

研究の目的については既に拙著に記載してあるが、研究成果の続報を記述するにあたり改めてここに記す。

中学生を迎える頃になると、「描画の危機」などと呼ばれるように美術に対する苦手意識をもつ子どもが増えてくる。また学研教育総合研究所が行った調査によると「好きな教科・嫌いな教科」をたずねた項目に関して、小学生の好きな教科の2位に図画工作が入っている³⁾のに対して、美術科は中学生の好きな教科で8位となっている⁴⁾。この結果からもわかるよう、小学校から中学校に進学する段階で美術の人気の大きさが落ちることがわかる。中学校学習指導要領には美術科の目標として、「(3)美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、(以下略)」⁵⁾と書かれている。「愛好する」とは対象のことを好き、その活動をするのが楽しいという気持ちにはほかならない。しかし先の調査結果を見る限りでは、この「美術を愛好する心情の育成」という目標が達成されているとは言い切れず、その実現のためにはさらなる努力が必要だと言わざるを得ない。

「描画の危機」に代表される生徒の苦手意識の高まりや先の調査結果から見える美術科に対する好意の減少は、美術教育に携わる者にとって非常に大きな課題である。この克服を目指し、現場で子どもたちを直接指導する立場にある教員だけでなく、多くの研究者も研究と実践を重ねてきた。しかし未だにその課題を克服するには至っていない状況にある。

この課題克服に向けた一助となることを目指し、本研究では造形表現活動が就学前施設の段階から中学校に至るまで継続的に行われていることに注目した。幼児期の造形表現体験と中学生が美術に対して抱いている好き嫌い、得手不得意という気持ちとが関連していることが分かれば、幼児期の段階で何か手立てを講じることで将来的に美術に対する嫌い・不得手というネガティブな気持ちの減少に貢献できると考えたのである。

最終的には本研究で得られた知見を活かした幼児期から中学校までそれぞれの段階に応じた活動案の作成や、保育者養成、教員養成機関での人材育成に活用していくことを目指していく。

2. 研究方法

研究方法についても拙著にて報告済みではあるがここに再度掲載する。

本研究では中学生に対して2回の質問紙調査を行い、各質問同士の間連の有無を統計的に分析する。1回目の質問紙調査(以降、質問紙1と表記)では、主に幼児期の造形表現活動や遊びに関することについて、2回目(以降、質問紙2)は、主に小学校の図画工作の授業に関すること・中学校の美術の授業に関することについて回答してもらった。

(1)研究対象:群馬県内の公立中学校Aに在籍する全校生徒の中から、個人情報の使用に同意のあった生徒441名を対象とした。

(2)実施日時等:2019年10月~11月にかけて2回の質問紙調査を行った。

なお1回目は、主に幼児期のことに関する設問が主であったため、生徒自身では記憶が曖昧なことや覚えていないことも多いと考えた。そこで保護者に確認しながら回答ができるように調査用紙を家庭に持ち帰ってもらい取り組んでもらった。2回目は授業時間を活用し実施した。

2つの質問紙を比較しその関係について分析を行うためどちらも記名制で行った。実施にあたっては、成績等には一切関わらないこと、個人が特定されるような形でのデータの使用は行わないことなどを説明した。また本研究を実施するにあたり、生徒とその保護者には個人情報の使用に関する同意書を提出してもらった。また質問紙への回答は任意とした。

(3)分析方法:本稿では2回の質問紙調査の中からそれぞれ以下の設問について分析を行う。

質問紙1では、

「幼稚園や保育園のときに園や家で下記のようなことをそれぞれどれくらいやっていましたか？」

E.ブロックで遊ぶ
F.積み木で遊ぶ
G.絵本を読む
H.美術館に行く

I.「幼稚園・保育園・小学校の時に園や学校・家で作った作品は今どうなっていますか？」

このE~Hについて[5:とてもよくしていた、4:よくしていた、3:ときどきしていた、2:あまりしなかった、1:まったくしなかった]の五つの選択肢

の中からもっとも当てはまるものに○をつけてもらう方法で回答してもらった。Iについては、[5:飾ってある、4:飾っていないがとってある、3:写真等に記録し作品自体は処分した、2:特に記録も残さず処分した、1:その他(自由記述)]の5つの選択肢の中からもっとも当てはまるものに○をつけてもらう方法で回答してもらった。なお1を選択し回答の記述をみると、全て4~2に割り振ることができたため、後の集計では内容に合わせて4~2に割り振った。なお回答するにあたっては、幼稚園や保育園に通っていない生徒がいる可能性も考えて、口頭で3歳~6歳(小学校入学前)の期間であることを補足説明し、その期間の家庭での様子から回答してもらった。

- 質問紙2では、
- 01.あなたは美術の授業で絵を描くのが好きですか
 - 02.あなたは美術の授業でものをつくるのが好きですか
 - 03.あなたは美術の授業で絵を描くのが得意ですか
 - 04.あなたは美術の授業でものをつくるのが得意ですか
 - 05.トータルで図画工作、美術が得意ですか
 - 06.普段美術館に行きますか
 - 07.家に美術作品が飾ってありますか
 - 08.家に自分の作品が飾ってありますか

これらのまず01~05の設問については[5:とても好

き(得意)、4:やや好き(得意)、3:どちらとも言えない、2:あまあまり好き(得意)ではない、1:とても好き(得意)ではない]の5つの中からもっとも当てはまるものに○をつけてもらう形で回答を求めた。06の設問については[4:よく行く、3:たまに行く、2:あまり行かない、1:全く行かない]の4つの中からもっとも当てはまるものに○をつけてもらう形で回答を求めた。

また07と08の設問については[4:5作品以上飾ってある、3:4~2作品以上飾ってある、2:1作品飾ってある、1:飾っていない]の4つの中からもっとも当てはまるものに○をつけてもらう形で回答を求めた。

質問紙1のE~I及び質問紙2の06~08の計8個の設問と、質問紙2の01~05の計5個の設問の各結果についてクロス集計を行った。

集計にあたっては、質問紙1のE~Gと質問紙2の01~05に関してはそれぞれ5と4の選択肢と2と1の選択肢を統合した。それにともないクロス集計表では、5と4を統合したものを設問内容に合わせて「していた・好き・得意」、2と1を「しなかった・好きではない・得意ではない」と表記している。

クロス集計後は「質問紙1のE~I・質問紙2の06~08」と「質問紙2の01~05」を変数に χ^2 乗検定を行った。分析ソフトにはエクセル統計⁶⁾を用いた。それぞれの分析の結果は、表1~8にまとめた。

表1 1-E「ブロックで遊ぶ」と2-01~05のクロス集計表(p<0.05)

1-E×2-01		あなたは美術の授業で絵を描くのが好きですか			合計
		好き	どちらともいえない	好きではない	
ブロックで遊ぶ	していた	度数 117	48	58	223
		期待値 111.80	47.32	63.88	
		調整済み残差 1.1	0.2	-1.4	
	どちらともいえない	度数 37	22	30	89
		期待値 44.62	18.89	25.50	
		調整済み残差 -1.8	0.9	1.2	
していない	度数 35	10	20	65	
	期待値 32.59	13.79	18.62		
	調整済み残差 0.7	-1.3	0.4		
合計	度数 189	80	108	377	
P値 0.3164					

1-E×2-02		あなたは美術の授業でものをつくるのが好きですか			合計
		好き	どちらともいえない	好きではない	
ブロックで遊ぶ	していた	度数 141	46	36	223
		期待値 133.09	47.91	42.00	
		調整済み残差 1.7	-0.5	-1.6	
	どちらともいえない	度数 49	26	14	89
		期待値 53.12	19.12	16.76	
		調整済み残差 -1.0	2.0	-0.9	
していない	度数 35	9	21	65	
	期待値 38.79	13.97	12.24		
	調整済み残差 -1.1	-1.6	3.1		
合計	度数 225	81	71	377	
P値 0.011					

1-E×2-03		あなたは美術の授業で絵を描くのが得意ですか			合計
		得意	どちらともいえない	得意ではない	
ブロックで遊ぶ	していた	度数 65	44	114	223
		期待値 63.29	47.32	112.39	
		調整済み残差 0.4	-0.9	0.3	
	どちらともいえない	度数 25	15	49	89
		期待値 25.26	18.89	44.85	
		調整済み残差 -0.1	-1.2	1.0	
していない	度数 17	21	27	65	
	期待値 18.45	13.79	32.76		
	調整済み残差 -0.4	2.4	-1.6		
合計	度数 107	80	190	377	
P値 0.1726					

1-E×2-04		あなたは美術の授業でものをつくるのが得意ですか			合計
		得意	どちらともいえない	得意ではない	
ブロックで遊ぶ	していた	度数 93	56	74	223
		期待値 82.22	59.15	81.63	
		調整済み残差 2.3	-0.7	-1.7	
	どちらともいえない	度数 31	21	37	89
		期待値 32.81	23.61	32.58	
		調整済み残差 -0.5	-0.7	1.1	
していない	度数 15	23	27	65	
	期待値 23.97	17.24	23.79		
	調整済み残差 -2.5	1.8	0.9		
合計	度数 139	100	138	377	
P値 0.0613					

1-E×2-05		トータルで図画工作、美術が得意ですか			合計
		得意	どちらともいえない	得意ではない	
ブロックで遊ぶ	していた	度数 70	74	79	223
		期待値 72.16	69.21	81.63	
		調整済み残差 -0.5	1.1	-0.6	
	どちらともいえない	度数 29	21	39	89
		期待値 28.80	27.62	32.58	
		調整済み残差 0.1	-1.7	1.6	
していない	度数 23	22	20	65	
	期待値 21.03	20.17	23.79		
	調整済み残差 0.6	0.5	-1.1		
合計	度数 122	117	138	377	
P値 0.3682					

表 2 1-F 「積み木で遊ぶ」と 2-01~05 のクロス集計表 (p<0.05)

1-F×2-01		あなたは美術の授業で絵を描くのが好きですか			合計
		好き	どちらともいえない	好きではない	
積み木で遊ぶ	していた	度数 85	38	52	175
		期待値 87.73	37.14	50.13	
		調整済み残差 -0.6	0.2	0.4	
どちらともいえない	していた	度数 48	23	27	98
		期待値 49.13	20.80	28.07	
		調整済み残差 -0.3	0.6	-0.3	
していない	していた	度数 56	19	29	104
		期待値 52.14	22.07	29.79	
		調整済み残差 0.9	-0.9	-0.2	
合計	度数 189	80	108	377	
P値 0.8765					

1-F×2-02		あなたは美術の授業でものをつくるのが好きですか			合計
		好き	どちらともいえない	好きではない	
積み木で遊ぶ	していた	度数 105	39	31	175
		期待値 104.44	37.60	32.96	
		調整済み残差 0.1	0.4	-0.5	
どちらともいえない	していた	度数 59	23	16	98
		期待値 58.49	21.06	18.46	
		調整済み残差 0.1	0.6	-0.7	
していない	していた	度数 61	19	24	104
		期待値 62.07	22.34	19.59	
		調整済み残差 -0.3	-0.9	1.3	
合計	度数 225	81	71	377	
P値 0.6997					

1-F×2-03		あなたは美術の授業で絵を描くのが得意ですか			合計
		得意	どちらともいえない	得意ではない	
積み木で遊ぶ	していた	度数 51	34	90	175
		期待値 49.67	37.14	88.20	
		調整済み残差 0.3	-0.8	0.4	
どちらともいえない	していた	度数 27	20	51	98
		期待値 27.81	20.80	49.39	
		調整済み残差 -0.2	-0.2	0.4	
していない	していた	度数 29	26	49	104
		期待値 29.52	22.07	52.41	
		調整済み残差 -0.1	1.1	-0.8	
合計	度数 107	80	190	377	
P値 0.8484					

1-F×2-04		あなたは美術の授業でものをつくるのが得意ですか			合計
		得意	どちらともいえない	得意ではない	
積み木で遊ぶ	していた	度数 70	43	62	175
		期待値 64.52	46.42	64.06	
		調整済み残差 1.2	-0.8	-0.4	
どちらともいえない	していた	度数 35	30	33	98
		期待値 36.13	25.99	35.87	
		調整済み残差 -0.3	1.1	-0.7	
していない	していた	度数 34	27	43	104
		期待値 38.34	27.59	38.07	
		調整済み残差 -1.0	-0.2	1.2	
合計	度数 139	100	138	377	
P値 0.5903					

1-F×2-05		トータルで図画工作、美術が得意ですか			合計
		得意	どちらともいえない	得意ではない	
積み木で遊ぶ	していた	度数 49	56	70	175
		期待値 56.63	54.31	64.06	
		調整済み残差 -1.7	0.4	1.3	
どちらともいえない	していた	度数 35	26	37	98
		期待値 31.71	30.41	35.87	
		調整済み残差 0.8	-1.1	0.3	
していない	していた	度数 38	35	31	104
		期待値 33.66	32.28	38.07	
		調整済み残差 1.1	0.7	-1.7	
合計	度数 122	117	138	377	
P値 0.3137					

表 3 1-G 「絵本を読む」と 2-01~05 のクロス集計表 (p<0.05)

1-G×2-01		あなたは美術の授業で絵を描くのが好きですか			合計
		好き	どちらともいえない	好きではない	
絵本を読む	していた	度数 119	40	46	205
		期待値 102.77	43.50	58.73	
		調整済み残差 3.2	-0.7	-2.3	
どちらともいえない	していた	度数 45	24	37	106
		期待値 53.14	22.49	30.37	
		調整済み残差 -2.2	0.4	1.7	
していない	していた	度数 25	16	25	66
		期待値 33.09	14.01	18.91	
		調整済み残差 -2.8	0.7	2.0	
合計	度数 189	80	108	377	
P値 0.0133					

1-G×2-02		あなたは美術の授業でものをつくるのが好きですか			合計
		好き	どちらともいえない	好きではない	
絵本を読む	していた	度数 129	40	41	210
		期待値 125.33	45.12	39.65	
		調整済み残差 0.8	-1.3	0.4	
どちらともいえない	していた	度数 47	19	15	81
		期待値 48.34	17.40	15.25	
		調整済み残差 -0.3	0.5	-0.1	
していない	していた	度数 49	22	15	86
		期待値 51.33	18.48	16.20	
		調整済み残差 -0.6	1.1	-0.4	
合計	度数 225	81	71	377	
P値 0.7734					

1-G×2-03		あなたは美術の授業で絵を描くのが得意ですか			合計
		得意	どちらともいえない	得意ではない	
絵本を読む	していた	度数 68	41	101	210
		期待値 59.60	44.56	105.84	
		調整済み残差 1.9	-0.9	-1.0	
どちらともいえない	していた	度数 22	20	39	81
		期待値 22.99	17.19	40.82	
		調整済み残差 -0.3	0.9	-0.5	
していない	していた	度数 17	19	50	86
		期待値 24.41	18.25	43.34	
		調整済み残差 -2.0	0.2	1.6	
合計	度数 107	80	190	377	
P値 0.2332					

1-G×2-04		あなたは美術の授業でものをつくるのが得意ですか			合計
		得意	どちらともいえない	得意ではない	
絵本を読む	していた	度数 76	56	78	210
		期待値 77.43	55.70	76.87	
		調整済み残差 -0.3	0.1	0.2	
どちらともいえない	していた	度数 29	20	32	81
		期待値 29.86	21.49	29.65	
		調整済み残差 -0.2	-0.4	0.6	
していない	していた	度数 34	24	28	86
		期待値 31.71	22.81	31.48	
		調整済み残差 0.6	0.3	-0.9	
合計	度数 139	100	138	377	
P値 0.9142					

1-G×2-05		トータルで図画工作、美術が得意ですか			合計
		得意	どちらともいえない	得意ではない	
絵本を読む	していた	度数 76	58	76	210
		期待値 67.96	65.17	76.87	
		調整済み残差 1.8	-1.6	-0.2	
どちらともいえない	していた	度数 27	27	27	81
		期待値 26.21	25.14	29.65	
		調整済み残差 0.2	0.5	-0.7	
していない	していた	度数 19	32	35	86
		期待値 27.83	26.69	31.48	
		調整済み残差 -2.3	1.4	0.9	
合計	度数 122	117	138	377	
P値 0.1711					

表4 1-H「美術館に行く」と2-01～05のクロス集計表(p<0.05)

1-H×2-01		あなたは美術の授業で絵を描くのが好きですか			合計
		好き	どちらともいえない	好きではない	
美術館に行く	していた	度数 10	0	1	11
	期待値	5.51	2.33	3.15	
	調整済み残差	2.7	-1.7	-1.5	
どちらともいえない	度数	17	3	4	24
	期待値	12.03	5.09	6.88	
	調整済み残差	2.1	-1.1	-1.3	
していない	度数	162	77	103	342
	期待値	171.45	72.57	97.97	
	調整済み残差	-3.4	1.9	2.0	
合計	度数	189	80	108	377
P値 0.0133					

1-H×2-02		あなたは美術の授業でものをつくるのが好きですか			合計
		好き	どちらともいえない	好きではない	
美術館に行く	していた	度数 7	1	3	11
	期待値	6.56	2.36	2.07	
	調整済み残差	0.3	-1.0	0.7	
どちらともいえない	度数	21	0	3	24
	期待値	14.32	5.16	4.52	
	調整済み残差	2.9	-2.6	-0.8	
していない	度数	197	80	65	342
	期待値	204.11	73.48	64.41	
	調整済み残差	-2.6	2.8	0.3	
合計	度数	225	81	71	377
P値 0.0284					

1-H×2-03		あなたは美術の授業で絵を描くのが得意ですか			合計
		得意	どちらともいえない	得意ではない	
美術館に行く	していた	度数 7	2	2	11
	期待値	3.12	2.33	5.54	
	調整済み残差	2.6	-0.3	-2.2	
どちらともいえない	度数	11	5	8	24
	期待値	6.81	5.09	12.10	
	調整済み残差	2.0	0.0	-1.7	
していない	度数	89	73	180	342
	期待値	97.07	72.57	172.36	
	調整済み残差	-3.2	0.2	2.7	
合計	度数	107	80	190	377
P値 0.0166					

1-H×2-04		あなたは美術の授業でものをつくるのが得意ですか			合計
		得意	どちらともいえない	得意ではない	
美術館に行く	していた	度数 5	2	4	11
	期待値	4.06	2.92	4.03	
	調整済み残差	0.6	-0.6	0.0	
どちらともいえない	度数	14	4	6	24
	期待値	8.85	6.37	8.79	
	調整済み残差	2.3	-1.1	-1.2	
していない	度数	120	94	128	342
	期待値	126.10	90.72	125.19	
	調整済み残差	-2.2	1.3	1.0	
合計	度数	139	100	138	377
P値 0.2189					

1-H×2-05		トータルで図画工作、美術が得意ですか			合計
		得意	どちらともいえない	得意ではない	
美術館に行く	していた	度数 7	2	2	11
	期待値	3.56	3.41	4.03	
	調整済み残差	2.3	-0.9	-1.3	
どちらともいえない	度数	11	6	7	24
	期待値	7.77	7.45	8.79	
	調整済み残差	1.5	-0.7	-0.8	
していない	度数	104	109	129	342
	期待値	110.67	106.14	125.19	
	調整済み残差	-2.5	1.1	1.4	
合計	度数	122	117	138	377
P値 0.111					

表5 1-I「幼稚園・保育園・小学校の時に園や学校・家で作った作品は今どうなっていますか」と2-01～05のクロス集計表(p<0.05)

1-I×2-01		あなたは美術の授業で絵を描くのが好きですか			合計
		好き	どちらともいえない	好きではない	
幼稚園・保育園・小学校の時に園や学校・家で作った作品は今どうなっていますか	飾ってある	度数 54	13	20	87
	期待値	43.62	18.46	24.92	
	調整済み残差	2.5	-1.6	-1.3	
飾っていないがとってある	度数	99	50	53	202
	期待値	101.27	42.86	57.87	
	調整済み残差	-0.5	1.8	-1.1	
写真等で記録し作品辞退は処分した	度数	17	6	16	39
	期待値	19.55	8.28	11.17	
	調整済み残差	-0.9	-0.9	1.8	
特に記録も残さず作品を処分した	度数	19	11	19	49
	期待値	24.56	10.40	14.04	
	調整済み残差	-1.7	0.2	1.7	
合計	度数	189	80	108	377
P値 0.0463					

1-I×2-02		あなたは美術の授業でものをつくるのが好きですか			合計
		好き	どちらともいえない	好きではない	
幼稚園・保育園・小学校の時に園や学校・家で作った作品は今どうなっていますか	飾ってある	度数 51	19	17	87
	期待値	51.92	18.69	16.38	
	調整済み残差	-0.2	0.1	0.2	
飾っていないがとってある	度数	130	41	31	202
	期待値	120.56	43.40	38.04	
	調整済み残差	2.0	-0.6	-1.9	
写真等で記録し作品辞退は処分した	度数	24	8	7	39
	期待値	23.28	8.38	7.34	
	調整済み残差	0.2	-0.2	-0.1	
特に記録も残さず作品を処分した	度数	20	13	16	49
	期待値	29.24	10.53	9.23	
	調整済み残差	-2.9	0.9	2.7	
合計	度数	225	81	71	377
P値 0.0965					

1-I×2-03		あなたは美術の授業で絵を描くのが得意ですか			合計
		得意	どちらともいえない	得意ではない	
幼稚園・保育園・小学校の時に園や学校・家で作った作品は今どうなっていますか	飾ってある	度数 29	25	33	87
	期待値	24.69	18.46	43.85	
	調整済み残差	1.2	2.0	-2.7	
飾っていないがとってある	度数	59	40	103	202
	期待値	57.33	42.86	101.80	
	調整済み残差	0.4	-0.7	0.2	
写真等で記録し作品辞退は処分した	度数	10	6	23	39
	期待値	11.07	8.28	19.66	
	調整済み残差	-0.4	-0.9	1.1	
特に記録も残さず作品を処分した	度数	9	9	31	49
	期待値	13.91	10.40	24.69	
	調整済み残差	-1.7	-0.5	1.9	
合計	度数	107	80	190	377
P値 0.0937					

1-I×2-04		あなたは美術の授業でものをつくるのが得意ですか			合計
		得意	どちらともいえない	得意ではない	
幼稚園・保育園・小学校の時に園や学校・家で作った作品は今どうなっていますか	飾ってある	度数 33	27	27	87
	期待値	32.08	23.08	31.85	
	調整済み残差	0.2	1.1	-1.2	
飾っていないがとってある	度数	77	55	70	202
	期待値	74.48	53.58	73.94	
	調整済み残差	0.5	0.3	-0.8	
写真等で記録し作品辞退は処分した	度数	16	8	15	39
	期待値	14.38	10.34	14.28	
	調整済み残差	0.6	-0.9	0.3	
特に記録も残さず作品を処分した	度数	13	10	26	49
	期待値	18.07	13.00	17.94	
	調整済み残差	-1.6	-1.0	2.6	
合計	度数	139	100	138	377
P値 0.2202					

1-I×2-05		トータルで図画工作、美術が得意ですか			合計
		得意	どちらともいえない	得意ではない	
幼稚園・保育園・小学校の時に園や学校・家で作った作品は今どうなっていますか	飾ってある	度数 32	29	26	87
	期待値	28.15	27.00	31.85	
	調整済み残差	1.0	0.5	-1.5	
飾っていないがとってある	度数	64	64	74	202
	期待値	65.37	62.69	73.94	
	調整済み残差	-0.3	0.3	0.0	
写真等で記録し作品辞退は処分した	度数	12	12	15	39
	期待値	12.62	12.10	14.28	
	調整済み残差	-0.2	0.0	0.3	
特に記録も残さず作品を処分した	度数	14	12	23	49
	期待値	15.86	15.21	17.94	
	調整済み残差	-0.6	-1.1	1.6	
合計	度数	122	117	138	377
P値 0.6504					

表 6 2-06 「普段美術館に行きますか」と 2-01~05 のクロス集計表 (p<0.05)

2-06×2-01		あなたは美術の授業で絵を描くのが好きですか			合計
		好き	どちらともいえない	好きではない	
普段美術館に行きますか	よく行く	度数 4	1	0	5
		期待値 2.51	1.06	1.43	
		調整済み残差 1.3	-0.1	-1.4	
たまに行く	度数 37	4	7	48	
		期待値 24.06	10.19		13.75
		調整済み残差 4.0	-2.3		-2.3
あまり行かない	度数 57	21	26	104	
		期待値 52.14	22.07		29.79
		調整済み残差 1.1	-0.3		-1.0
全く行かない	度数 91	54	75	220	
		期待値 110.29	46.68		63.02
		調整済み残差 -4.0	1.9		2.8
合計	度数 189	80	108	377	
P値 0.0005					

2-06×2-02		あなたは美術の授業でものをつくるのが好きですか			合計
		好き	どちらともいえない	好きではない	
普段美術館に行きますか	よく行く	度数 4	1	0	5
		期待値 2.98	1.07	0.94	
		調整済み残差 0.9	-0.1	-1.1	
たまに行く	度数 34	8	6	48	
		期待値 28.65	10.31		9.04
		調整済み残差 1.7	-0.9		-1.2
あまり行かない	度数 65	23	16	104	
		期待値 62.07	22.34		19.59
		調整済み残差 0.7	0.2		-1.1
全く行かない	度数 122	49	49	220	
		期待値 131.30	47.27		41.43
		調整済み残差 -2.0	0.4		2.0
合計	度数 225	81	71	377	
P値 0.3444					

2-06×2-03		あなたは美術の授業で絵を描くのが得意ですか			合計
		得意	どちらともいえない	得意ではない	
普段美術館に行きますか	よく行く	度数 4	0	1	5
		期待値 1.42	1.06	2.52	
		調整済み残差 2.6	-1.2	-1.4	
たまに行く	度数 25	11	12	48	
		期待値 13.62	10.19		24.19
		調整済み残差 3.9	0.3		-3.8
あまり行かない	度数 33	24	47	104	
		期待値 29.52	22.07		52.41
		調整済み残差 0.9	0.5		-1.2
全く行かない	度数 45	45	130	220	
		期待値 62.44	46.68		110.88
		調整済み残差 -4.0	-0.4		4.0
合計	度数 107	80	190	377	
P値 0.00018					

2-06×2-04		あなたは美術の授業でものをつくるのが得意ですか			合計
		得意	どちらともいえない	得意ではない	
普段美術館に行きますか	よく行く	度数 4	0	1	5
		期待値 1.84	1.33	1.83	
		調整済み残差 2.0	-1.4	-0.8	
たまに行く	度数 25	10	13	48	
		期待値 17.70	12.73		17.57
		調整済み残差 2.3	-1.0		-1.5
あまり行かない	度数 44	31	29	104	
		期待値 38.34	27.59		38.07
		調整済み残差 1.4	0.9		-2.2
全く行かない	度数 66	59	95	220	
		期待値 81.11	58.36		80.53
		調整済み残差 -3.3	0.2		3.1
合計	度数 139	100	138	377	
P値 0.0066					

2-06×2-05		トータルで図画工作、美術が得意ですか			合計
		得意	どちらともいえない	得意ではない	
普段美術館に行きますか	よく行く	度数 4	0	1	5
		期待値 1.62	1.55	1.83	
		調整済み残差 2.3	-1.5	-0.8	
たまに行く	度数 28	12	8	48	
		期待値 15.53	14.90		17.57
		調整済み残差 4.1	-1.0		-3.1
あまり行かない	度数 36	33	35	104	
		期待値 33.66	32.28		38.07
		調整済み残差 0.6	0.2		-0.7
全く行かない	度数 54	72	94	220	
		期待値 71.19	68.28		80.53
		調整済み残差 -3.8	0.8		2.9
合計	度数 122	117	138	377	
P値 0.00008					

表 7 2-07 「家に美術作品が飾ってありますか」と 2-01~05 のクロス集計表 (p<0.05)

2-07×2-01		あなたは美術の授業で絵を描くのが好きですか			合計
		好き	どちらともいえない	好きではない	
家に美術作品が飾ってありますか	5作品以上飾ってある	度数 119	40	46	205
		期待値 102.77	43.50	58.73	
		調整済み残差 3.2	-0.7	-2.3	
4~2作品飾ってある	度数 45	24	37	106	
		期待値 53.14	22.49		30.37
		調整済み残差 -2.2	0.4		1.7
1作品飾ってある	度数 45	24	37	106	
		期待値 53.14	22.49		30.37
		調整済み残差 -2.2	0.4		1.7
飾っていない	度数 25	16	25	66	
		期待値 33.09	14.01		18.91
		調整済み残差 -2.8	0.7		2.0
合計	度数 189	80	108	377	
P値 0.0133					

2-07×2-02		あなたは美術の授業でものをつくるのが好きですか			合計
		好き	どちらともいえない	好きではない	
家に美術作品が飾ってありますか	5作品以上飾ってある	度数 135	39	31	205
		期待値 122.35	44.05	38.61	
		調整済み残差 2.8	-1.0	-1.5	
4~2作品飾ってある	度数 61	22	23	106	
		期待値 63.26	22.77		19.96
		調整済み残差 -0.7	-0.2		0.8
1作品飾ってある	度数 61	22	23	106	
		期待値 63.26	22.77		19.96
		調整済み残差 -0.7	-0.2		0.8
飾っていない	度数 29	20	17	66	
		期待値 39.39	14.18		12.43
		調整済み残差 -4.1	2.0		1.6
合計	度数 225	81	71	377	
P値 0.0293					

2-07×2-03		あなたは美術の授業で絵を描くのが得意ですか			合計
		得意	どちらともいえない	得意ではない	
家に美術作品が飾ってありますか	5作品以上飾ってある	度数 11	3	5	19
		期待値 5.39	4.03	9.58	
		調整済み残差 2.9	-0.6	-2.2	
4~2作品飾ってある	度数 27	15	25	67	
		期待値 19.02	14.22		33.77
		調整済み残差 2.4	0.3		-2.4
1作品飾ってある	度数 16	21	27	64	
		期待値 18.16	13.58		32.25
		調整済み残差 -0.7	2.5		-1.4
飾っていない	度数 53	41	133	227	
		期待値 64.43	48.17		114.40
		調整済み残差 -2.7	-1.8		3.9
合計	度数 107	80	190	377	
P値 0.0003					

2-07×2-04		あなたは美術の授業でものをつくるのが得意ですか			合計
		得意	どちらともいえない	得意ではない	
家に美術作品が飾ってありますか	5作品以上飾ってある	度数 10	5	4	19
		期待値 7.01	5.04	6.95	
		調整済み残差 1.5	0.0	-1.4	
4~2作品飾ってある	度数 30	13	24	67	
		期待値 24.70	17.77		24.53
		調整済み残差 1.5	-1.5		-0.1
1作品飾ってある	度数 29	22	13	64	
		期待値 23.60	16.98		23.43
		調整済み残差 1.5	1.6		-3.0
飾っていない	度数 70	60	97	227	
		期待値 83.69	60.21		83.09
		調整済み残差 -3.0	-1.0		3.0
合計	度数 139	100	138	377	
P値 0.0097					

2-07×2-05		トータルで図画工作、美術が得意ですか			合計
		得意	どちらともいえない	得意ではない	
家に美術作品が飾ってありますか	5作品以上飾ってある	度数 11	4	4	19
		期待値 6.15	5.90	6.95	
		調整済み残差 2.4	-1.0	-1.4	
4~2作品飾ってある	度数 26	25	16	67	
		期待値 21.68	20.79		24.53
		調整済み残差 1.2	1.2		-2.4
1作品飾ってある	度数 25	22	17	64	
		期待値 20.71	19.86		23.43
		調整済み残差 1.3	0.6		-1.8
飾っていない	度数 60	66	101	227	
		期待値 73.46	70.45		83.09
		調整済み残差 -3.0	-1.0		3.9
合計	度数 122	117	138	377	
P値 0.0029					

表 8 2-08 「家に自分の作った作品が飾ってありますか」と 2-01~05 のクロス集計表 (p<0.05)

2-08×2-01		あなたは美術の授業で絵を描くのが好きですか			合計	
		好き	どちらともいえない	好きではない		
家に自分の作った作品が飾ってありますか	5作品以上飾ってある	度数 25 期待値 18.55 調整済み残差 2.2	3 7.85 -2.1	9 10.60 -0.6	37	
	4~2作品飾ってある	度数 62 期待値 56.15 調整済み残差 1.3	25 23.77 0.3	25 32.08 -1.8		
	1作品飾ってある	度数 48 期待値 42.61 調整済み残差 1.3	19 18.04 0.3	18 24.35 -1.7		
飾っていない	飾っていない	度数 54 期待値 71.69 調整済み残差 -3.8	33 30.34 0.7	56 40.97 3.5	143	
	合計	度数 189	80	108		377
	P値 0.0025					

2-08×2-02		あなたは美術の授業でものをつくるのが好きですか			合計	
		好き	どちらともいえない	好きではない		
家に自分の作った作品が飾ってありますか	5作品以上飾ってある	度数 25 期待値 22.08 調整済み残差 1.0	6 7.95 -0.8	6 6.97 -0.4	37	
	4~2作品飾ってある	度数 74 期待値 66.84 調整済み残差 1.6	21 24.06 -0.8	17 21.09 -1.2		
	1作品飾ってある	度数 54 期待値 50.73 調整済み残差 0.8	19 18.26 0.2	12 16.01 -1.3		
飾っていない	飾っていない	度数 72 期待値 85.34 調整済み残差 -2.9	35 30.72 1.1	36 26.93 2.5	143	
	合計	度数 225	81	71		377
	P値 0.1277					

2-08×2-03		あなたは美術の授業で絵を描くのが得意ですか			合計	
		得意	どちらともいえない	得意ではない		
家に自分の作った作品が飾ってありますか	5作品以上飾ってある	度数 16 期待値 10.50 調整済み残差 2.1	7 7.85 -0.4	14 18.65 -1.6	37	
	4~2作品飾ってある	度数 35 期待値 31.79 調整済み残差 0.8	34 23.77 2.8	43 56.45 -3.0		
	1作品飾ってある	度数 24 期待値 24.12 調整済み残差 0.0	15 18.04 -0.9	46 42.84 0.8		
飾っていない	飾っていない	度数 32 期待値 40.59 調整済み残差 -2.0	24 30.34 -1.6	87 72.07 3.2	143	
	合計	度数 107	80	190		377
	P値 0.0041					

2-08×2-04		あなたは美術の授業でものをつくるのが得意ですか			合計	
		得意	どちらともいえない	得意ではない		
家に自分の作った作品が飾ってありますか	5作品以上飾ってある	度数 23 期待値 13.64 調整済み残差 3.4	10 9.81 0.1	4 13.54 -3.4	37	
	4~2作品飾ってある	度数 44 期待値 41.29 調整済み残差 0.6	27 29.71 -0.7	41 41.00 0.0		
	1作品飾ってある	度数 28 期待値 31.34 調整済み残差 -0.9	27 22.55 1.2	30 31.11 -0.3		
飾っていない	飾っていない	度数 44 期待値 52.72 調整済み残差 -1.9	36 37.93 -0.5	63 52.34 2.3	143	
	合計	度数 139	100	138		377
	P値 0.005					

2-08×2-05		トータルで図画工作・美術が得意ですか			合計	
		得意	どちらともいえない	得意ではない		
家に自分の作った作品が飾ってありますか	5作品以上飾ってある	度数 16 期待値 11.97 調整済み残差 1.5	14 11.48 0.9	7 13.54 -2.4	37	
	4~2作品飾ってある	度数 41 期待値 36.24 調整済み残差 1.1	32 34.76 -0.7	39 41.00 -0.5		
	1作品飾ってある	度数 28 期待値 27.51 調整済み残差 0.1	30 26.38 1.0	27 31.11 -1.1		
飾っていない	飾っていない	度数 37 期待値 46.28 調整済み残差 -2.1	41 44.38 -0.8	65 52.34 2.8	143	
	合計	度数 122	117	138		377
	P値 0.0569					

3. 結果

今回の分析では、調査対象生徒 441 名の中から、回答に不備があった生徒、実施日に欠席をしていた生徒、質問紙未提出の生徒を除いた 377 名の回答を有効回答として分析を行った。なお回答率は約 85% であった。

ここでは、それぞれの設問同士の結果をクロス集計した結果(表 1~8)の中から、有意差(p<0.05)を見ることができたものに対して残差分析を行った結果について述べる。なおここからは「質問紙 1 の設問 A」を「1-A」のように表記していく。

3-1 1-E「ブロックで遊ぶ」と各設問の関連

1-E については、2-02 の設問との間に有意差が認められた。

2-02 では「美術の授業でものをつくるのが好きではない」と回答した生徒は「(ブロック遊びを)していない」と回答した生徒に多かった。また質問紙 1 に「どちらともいえない」と回答した生徒は質問紙 2 についても「どちらともいえない」と回答した生

徒が多かった。

3-2 1-F「積み木で遊ぶ」と各設問の関連

1-F については、2-01~05 の全ての設問との間に有意差は認められなかった。

3-3 1-G「絵本を読む」と各設問の関連

1-G については、2-01 の設問との間に有意差が認められた。

2-01 では「美術の授業で絵を描くのが好き」と回答した生徒は「(絵本を読むことを)していた」と回答した生徒に多く、「どちらともいえない」「していない」と回答した生徒に少なかった。「絵を描くことが好きではない」と答えた生徒は、「していた」と答えた生徒では少なく「していない」と答えた生徒には多かった。

3-4 1-H「美術館に行く」と各設問の関連

1-H については表の上では有意差が出ているが度数が著しく少ない箇所(5 以下)が生じている。そのため 2-01~05 の全ての設問においてその関連付けを証明する資料としては不十分だといえる。

3-5 1-I「幼稚園・保育園・小学校の時に園や学校・家で作った作品は今どうなっていますか」と各設問

の関連

1-Iについては、2-01の設問との間に有意差が認められた。2-01では「美術の授業で絵を描くのが好き」と回答した生徒は「飾ってある」と回答した生徒に多かった。

3-6 2-06「普段美術館に行く」と各設問の関連

2-06については表の上では有意差が出ているが度数が著しく少ない箇所が生じている。そのため2-01～05の全ての設問においてその関連付けを証明する資料としては不十分だと考えられる。なお設問1-Hとの違いは、1-Hは幼児期に美術館に行った頻度を聞いているのに対して、本設問は中学生になった現在の状況において、美術館へ行く頻度を聞いているところにある。

3-7 2-07「家に美術作品が飾ってありますか」と各設問の関連

2-07については2-01,02において有意差が認められた。2-03～05については、度数が著しく低い箇所が生じているため、その関連付けを証明する資料としては不十分だと考えられる。なおこの設問における「美術作品」とは、いわゆる芸術作品やその印刷物などを示し、生徒の作品は含まれない。これについては質問紙にもその旨の説明を記載し、口頭でも説明を行った。

2-01については、「美術の授業で絵を描くのが好き」と回答した生徒は「(美術作品が)5作品以上飾ってある」と回答した生徒に多く、「4～2作品飾ってある」「1作品飾ってある」「飾っていない」と回答した生徒に少なかった。「絵を描くことが好きではない」と答えた生徒は、「5作品以上飾ってある」と答えた生徒では少なく「飾っていない」と答えた生徒には多かった。

2-02では「美術の授業でもものをつくるのが好きではない」と回答した生徒は「(ブロック遊びを)していない」と回答した生徒に多かった。また質問紙1に「どちらともいえない」と回答した生徒は質問紙2についても「どちらともいえない」と回答した生徒が多かった。

3-8 2-08「家に自分の作った美術作品が飾ってありますか」と各設問の関連

2-08については2-03において有意差が認められた。2-02,05については、有意差は認められなかった。また2-01,04については度数が著しく低い箇所が生じているため、その関連付けを証明する資料としては不十分だと考えられる。

2-03については、「美術の授業で絵を描くのが得意」と回答した生徒は「(美術作品が)5作品以上飾ってある」と回答した生徒に多く、「飾っていない」と回答した生徒に少ないことがわかった。また「美術の授業で絵を描くのが得意でも不得意でもない」と回答した生徒は「4～2作品飾ってある」生徒に多かった。「美術の授業で絵を描くのが不得意」と回答した生徒は「4～2作品飾ってある」生徒に少なく、「飾っていない」と回答した生徒に多かった。

4. 考察

以上の質問紙調査の結果から、幼児期にブロックで遊ぶ経験をあまりしていない子どもは、中学生になってからものづくりに対して好きではないというネガティブなイメージを持ちやすいことがわかった。その一方でブロックと同じく、立体物を用いて空間に構成を行うことを楽しむ積み木については、好き嫌い・得意不得意どちらについても関連は見出さなかった。ブロックや積み木に代表される空間構成遊びでは、数量や図形への理解、空間やものの構造を把握する能力の獲得が期待できる。それは手仕事によるものづくりだけでなく、プログラミングによるものづくりにおいても必要な能力と考えられ、あらゆるものづくりへつながっていく。

ブロックと積み木の相違点をあげるとするならば、ブロックはその種類にもよるが、パーツの形状が豊富にあり凹凸や穴を利用しパーツ同士を組み合わせることができる。それに対し、積み木はよりシンプルな形で、基本は並べることと積み重ねることで構成遊びをしていく。この違いをふまえると、ブロックの方がより具体的なイメージを形にしやすく、その形状のまま持ち運んだり動かしたりすることができ、作り上げた作品をごっこ遊びの玩具として展開しやすい。新しい遊びに活用するために、自分のイメージを投影したものをつくり出す工程も遊びとして豊富に経験することで、その必要性や楽しさを実感し、ものを作ることに對する満足感と自信を深めることにつながると考え得る。一方、積み木は並べることと積むことで構成されているため場所の移動が困難である。積み木の色や形をそのまま生かした見立てによるイメージを投影して遊ぶことは可能であるが、自分のイメージを投影した玩具をつくり出すには限界がある。だが、シンプルにつくったものを再構成することができるため、バランスよく配置

したり積み重ねたりなど試しながらものの構造を理解しやすい。

今回の調査では、ブロックや積み木での具体的な遊び方までは問うていないため推測の域を出ないが、幼児期にはブロックの方が積み木よりもものを作ることに對する満足感が得やすいと考えられる。その違いが今回の結果にも影響していることが予想される。

絵本については、幼児期に読んでいたという経験の頻度が高い生徒の方が、美術の授業で絵を描くのが好きという気持ちを抱きやすいことがわかった。その一方頻度が低いことで、好きではないという気持ちを抱きやすいこともわかった。

絵本を読むことは、それ自体は子どもたちが何か形としてアウトプットしている状態ではない。しかし、子どもたちは絵本を通して多く刺激を受けながら想像を広げていく。想像は創造の源でありそれは子どもたちの表現活動につながっていくと考えられる。絵本には多種多様な表現方法を用いた絵を見て取ることができる。中川によれば絵本の中には、色と形、様々な表現技法、対象や世界の見つめ方、素材としての紙の魅力、美術史上の作品の学びなど、美術的、視覚的な点でもたくさんの学びの機会があるという⁷⁾。つまり絵本にたくさん触れることは多様な表現にたくさんふれることであり、それは絵に表すことの魅力を知り「自分もやってみたい」という意欲や「絵に表すことは楽しいんだ」という関心を生むことが想像できる。絵本を一つの芸術作品だと捉えれば、子どもたちにとっては一番身近な美術鑑賞とも言えるであろう。教育現場では鑑賞と表現の一体化を重要視する声が高まっているが、幼児期に絵本を読むという鑑賞活動は、幼児期の表現活動だけでなくその後の表現への姿勢にも影響することがわかる。

次に幼児期に美術館に行った頻度と現在美術館に行く頻度の結果からは、多くの生徒が幼児期～青年前期まで一貫して美術館に行っていないことがわかる。これについては拙著の研究ノートにおいて考察したように、ここからは幼児期からの鑑賞体験の乏しさが中学生まで持続しているということが伺える。

子どもたちの鑑賞経験に関連する項目として、各家庭における美術作品の展示状況について調査した結果から、芸術作品や子どもの作品が複数飾ってある状況にいる生徒は美術の授業における絵やものづくりに対して、好き・得意といったポジティブな意

識を抱いていることがわかる。その一方で、展示されていない状況の生徒は好きではない・不得意というネガティブな印象抱く傾向があることがわかる。

ただしここで注意しなければならないのは、既に美術に対して好きという気持ちを抱いていたたり、自分は美術が得意という自信を持っていたりする生徒だからこそ作品を飾っているということも考えられる。つまり美術に対してネガティブな印象を抱いていた生徒全員が、作品を展示したことでポジティブな印象に変化していくと結論づけるには慎重であるべきである。しかしそれでも、先に考察した絵本に関する結果を踏まえれば、幼児期からさまざまな作品にふれられるように家庭内に作品を飾ることは子どもたちにポジティブな働きかけをする可能性はあると思われる。

また幼児期から小学校までの作品の扱いについての結果からは、過去の作品が飾ってある場合、授業で絵を描くことに對して好きと答える割合が多かった。作品が飾られるということは、作品に込めた思いや願い、そこに向き合った姿勢や活動の過程が認められることとイコールだと考える。東山は「子どもにとって、親しい人に絵を見せることは、自分の世界や気持ちを知ってもらうコミュニケーションなのである。(略)親しい人とのコミュニケーションをとることで、生きる活力というか生きる力を生み、信頼感を生むのである。」⁸⁾と述べている。つまり自分の作品を展示してもらえるとすることは、子どもたちの中に家族という親しい人に自らの世界が受け入れられたという充実感と、自らの表現は大切にされているのだという喜びを生む。そしてそれは、自分の表現は周囲の人に受け入れてもらえるという気持ちを生み、それが自分らしく表現していいのだという自信につながっていく。これが将来的に美術に対する得意不得意の気持ちに影響を与えると考えられる。

ここまでの考察の結果から、幼児期に構成遊びをすることや絵本を読むことを多く体験することで、中学生(青年前期)における美術の授業に対する「好き」「得意」というポジティブな面が高まる可能性があるという示唆を得た。また芸術作品が身近に飾られている状況や自分の作品が飾られているという状況も、彼らにポジティブな影響を与えることが期待できることがわかった。絵本を通して多様な表現に触れることや、家庭内に作品が展示されそれにふれる機会が多いことが子どもたちにプラスの影響を与えるのであれば、幼児期においても、中学生になっ

た現在においてもあまり足を運ぶことのなかった美術館を活用することでプラスの影響を与えることが期待できる。

今回の調査において選択肢を選ぶ基準は、それぞれ各個人の基準であり一定ではない。各々の活動の内容は一切考慮していない。本論の結果もその部分に配慮しながら活用していく必要があると考える。

おわりに

本稿では幼児期におけるブロックや積み木を使用した構成遊びの経験、絵本に触れた頻度や美術館へ足を運んだ経験、就学前施設や小学校の時に製作した作品の保管状況等の広く鑑賞関わる経験と、中学生が今現在、美術科の授業に抱く好き嫌い、得意不得手との関連を質問紙調査の分析結果を基に考察してきた。

そこから構成遊びや絵本に触れること、作品を展示してもらったりそれを鑑賞したりする多様な経験が、将来的に美術に対するポジティブな感情を生む可能性を見出すことができた。

ただし幼児期から中学校までの期間は長く、その間には小学校6年間がある。この6年間の中で子どもたちはポジティブな経験もネガティブな経験もたくさんしながら大きく成長する。その中には美術に関わる経験もあるはずである。時にその中の辛い経験が幼児期の楽しかった経験を覆してしまう可能性も考えられる。そのことを踏まえると、幼児期の造形表現体験と中学生の美術に対する意識とを結びつけて結論付けるのには慎重にならなければいけない。ただし、幼児期の経験が影響している可能性が少しでもあるのであれば、子どもたちの未来のためにも、本調査の結果を生かしながら、幼児教育から中学校までの段階に応じた具体的な活動づくりをすすめていく必要があると考える。また、直接これからの子どもたちと関わっていく保育者や教員が、養成段階で「美術を愛好する心情の育成」がなぜ大切なのか具体的な活動づくりを通じて理解できるような授業を構築していきたい。

※謝辞：本研究にあたりお世話になりました、協力校の校長先生はじめ教職員の方々、質問紙調査にご協力頂いた生徒の皆さまに心より感謝申し上げます。

引用・参考文献

- 1) 伊藤七男・茂木克浩「幼児期の造形表現体験と中学生の美術科に対する意識との関連」『足利短期大学研究紀要』第40巻 第1号, 2020, pp.19-26
- 2) 茂木克浩「幼児期の造形体験と中学生の美術科に対する意識との関連についての研究ノート — 質問紙調査における美術館の利用と鑑賞活動の項目に注目して —」『令和元年度 群馬大学美術教育長期研修院報告書』2020, p.9
- 3) 小学生白書 web版「小学生の日常生活・学習・新型コロナウイルス対策の休校に関する調査」(2020年8月調査)学研教育総合研究所 web[<https://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/202008/index.html>] (2021/01/21 アクセス)
- 4) 中学生白書 web版「小学生の日常生活・学習に関する調査」(2020年8月調査)学研教育総合研究所 web[<https://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/j202008/index.html>] (2021/01/21 アクセス)
- 5) 文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)』2018, p.107
- 6) 「エクセル統計」は株式会社 社会情報サービスが販売している統計処理ソフト
- 7) 中川素子「絵本が楽しく豊かな美術教育を作り出す」『教育美術』第75巻第11号(2014年11月号), 公益財団法人教育美術振興会, 2014, pp.30-33
- 8) 東山明・東山直美『子どもの絵は何を語るか 発達科学の視点から』NHK出版, 1999, p.33